

実質化された人・農地プラン

〔注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
有田川町	生石地区 (丹生、糸野、下六川、釜中、黒松、上六川(上六川・上六川西))	2022/3/30	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	239ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	125ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	75ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	30ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.1ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	8ha
(備考)2号遊休農地無し	

2 対象地区の課題

各集落とも農業者の平均年齢が高く、5年後には70歳以上で後継者未定農地が地区の耕地面積125haのうち42ha(約33.7%)になる。担い手の確保が最大の課題。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域の特徴である高原野菜生産地として他の地区とは異なる就農プランを打ち出すことで、担い手確保においての差別化を図る。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向
貸付け等の意向が確認された農地は、9,746㎡となっている。

町の受入協議会を通じ国の補助金を駆使しながら、就農希望者の育成に取り組み、地域内において一人でも多くの担い手を確保していく。